

## 大きく変わる学校

### グローバル探究／総合探究



## 二松学舎大学附属柏中学校

二松学舎大学附属柏中学校は、建学の精神である「己を修め人を治め一世に有用なる人材を養成す」の実現のため、自ら考えて行動する、人に信用され社会に貢献する、自国と他国の文化・歴史を正しく理解する、それらを通じて多様な価値観を共有できる真の国際人の養成をめざします。教育の2本柱は「人間力の向上」と「学力の向上」。そして二松学舎の伝統とも言える「探究力」をより深化させるため、2022年度より「グローバル探究コース」と「総合探究コース」の新コース制を開始します。

### 1. コース改編の背景

2011年の開校以来、「沼の教室(手賀沼調査)」、「田んぼの教室(田植え・稲刈り体験から植物の成長と食物の循環を考える)」、「雪の教室(スキーとともに雪の結晶観察や山の四季を考える)」、「都市の教室(東京フィールドワーク)」、「古都の教室(京都・奈良の探究)」、「世界の教室(シンガポール・マレーシアの文化・歴史を学び現地校と交流)」といったプログラムを全コースで実施、探究活動を通じて自問自答力の育成に努めてきました。その集大成として、中学で卒業論文を執筆しています。

そして、2021年度から中学校が、2022年度から学年進行で高等学校が新学習指導要領に切り替わり、各校とも探究活動に取り組みます。また、2021年度から始まった大学入試改革では、従来型の「まずは大学入学共通テスト(従来のセンター試験)を突破して」といった考えばかりでなく、総合型選抜や学校推薦型選抜で、探究活動の成果が求められるようになります。そこで本校では、従来からの探究活動にさらに磨きをかけることにしました。グローバル、特選、選抜の3コース制を、2022年度からグローバル探究と総合探究の2コース制に変更します。

伝統の論語教育の「知」(経験と知識)、「勇」(たくましさと柔軟性)、「仁」(思いやりの心)と、中1からの漢文教育は継続し、「自問自答」、「学習支援」、「進路支援」の3つの探究教育プログラムをパワーアップ、伝統の人間教育と21世紀型教育を共存した教育を実践します。

### 2. グローバル探究コース

今までのグローバルコースの特徴だった、パワーアップイングリッシュプログラムや、国内の大使館・国際機関訪問、イギリス短期留学をはじめとする多くの海外研修、希望制の中国語・韓国語講座、探究成果の英語でのプレゼンテーション、高校2年生からのスーパー特進・グローバルクラスで国公立大や最難関私大合格をめざす取り組みは継続します。そのうえで、SDGsに取り組み、世界の諸課題を自分のこととして捉え、その解決に役立つ提案を行っていく、リーダーとしてのマインドの育成に注力します。

### 3. 総合探究コース

今までの特選コース・選抜コースは、探究活動は中学段階が中心で、高校では国公立大・最難関私大目標のスーパー特進・グローバル、難関私大目標の特進、私大目標の進学の3つのクラスで自己実現を果たすことが目標でしたが、大学生に求められる学力観が変わってきました。基本をしっかり身に付けたうえで、高校での探究活動を深め、教科を横断した課題の捉え方、考え方を身に付けることが求められています。従来からのモーニングレッスンや放課後学習センターでの学習サポート、日々の学習ノート(365ノート)提出などの学習支援は継続、自問自答プログラムの深度化で、新大学入試や大学入学後の学びに備えた、しっかりとした総合学力を身に付けます。

新コース制で、「育む」「伸ばす」「鍛える」学びを本校は進めていきます。